



## 令和5年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】事業が内定しました

当地域では33団体(34事業)から総額7,634万1千円の事業要望があり、「地域発 元気づくり支援金交付要綱」に基づく北信地域事業選定会議を経て下記のとおり内定しました。

### 1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	5	13,915	協働のむらづくり事業、地域協働で農林業に活力を与えるための施設整備
2 保健、医療、福祉の充実	1	2,506	子育て支援型の生鮮冷凍食品フードバンクと長丘こども食堂
3 教育、文化の振興	5	5,746	きのこの魅力発信事業、中野市立図書館開館30周年記念事業
4 安全・安心な地域づくり	0	0	
5 環境保全、景観形成	0	0	
6 産業振興、雇用拡大(小計)	14	26,043	
(1)特色ある観光地づくり	(11)	(18,051)	志賀高原ヒルクライム、インバウンドの聖地山ノ内町での外国語実践研修&人材育成事業
(2)農業振興	(2)	(6,203)	キッチントレーラーを活用した農業振興と地域プロモーション
(3)森林づくりと林業の振興	(0)	(0)	
(4)商業の振興	(0)	(0)	
(5)その他(産業の振興及び雇用の拡大)	(1)	(1,789)	COME DISCOVER Iiyama 地域力発信!インバウンド向けプロモーション事業
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	4,737	飯山のさつまいもによる元気な地域づくり事業、ネクストスポーツで地域を繋ぐ事業
<b>合 計</b>	<b>28</b>	<b>52,947</b>	

### 【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
女性・若者に選ばれる県づくり	1	706	地域住民と移住者の連携による「みらいの村」エリアマネジメント推進事業
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	0	0	
子育て支援や地域の文化・産業等を学ぶふるさと教育の推進	4	6,109	かわまちづくり推進事業
農産物の生産・消費拡大と次世代を担う働き手の確保・育成	4	11,410	きのこの魅力発信事業、スマート農業推進事業
通年型の広域観光の推進	12	19,840	本沢川登山道整備・里山トレイル案内アプリ開発事業
雪対策と利活用の推進	0	0	
医療・公共交通等の生活基盤の整備	0	0	
<b>合 計</b>	<b>21</b>	<b>38,065</b>	

### 2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額	
市町村	5	13,915	
広域連合等	0	0	
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	23	39,032	
<b>合 計</b>	<b>28</b>	<b>52,947</b>	

確かな暮らしを守り、  
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0  
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

北信地域振興局 企画振興課  
(課長)羽田直史 (担当)石田稔文、生井陽  
電 話 0269-23-0201 (直通)  
F A X 0269-23-0256  
E-mail hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和5年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】選定事業 一覧表

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ 区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
1	教育、文化の 振興	中野市立図書館 開館30周年 記念事業	中野市立図書館 開館30周年 記念事業実行 委員会	人口減少に加え、PC等の普及により図書館離れが進み、全国的に図書館の利用者減少が続く中で、令和5年6月に中野市立図書館が開館30周年の節目を迎えるのに合わせて、1年を通してイベントを行う。 具体的には、おすすめの本を紹介しあうビデオバトルやメッセージを載せたしおりを作るイベント開催や、例年の図書館まつりに加え、2カ月連続図書館まつりを行うなど、本と触れ合う機会を住民に提供し、心豊かな生活を楽しむための生涯学習の拠点場になるよう取り組む。 ①図書館まつり開催事業 (1,757)	1,757	1,302	562	
2	教育、文化の 振興	きのこの魅力 発信事業	明日はきのこを 食べようプロ ジェクト協 議会	中野市が日本一の生産量を誇るきのこであるが、地元企業では近年、就職希望者が減少し人手不足が進んでいる。 そこで、消費拡大や認知度を高めるため、R4年度に続き、幼稚園児へのきのこほぐし体験・絵本配布、小学生のきのこ工場見学・栽培体験を行うほか、きのこの消費量が低下する春夏のきのこの楽しみ方を提案する、きのこフードフェスを開催する。 ①小学校児童へのきのこ食育事業 (850)、幼稚園、保育園への食育強化事業 (1,258)、周知活動きのこフードフェスイベント (570)	2,678	1,805	1,697	農産物生産・ 消費拡大
3	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	ネクストス ポーツで地域 をつなぐ事業	ネクストス ポーツで地域 を繋ぐ会	老若男女問わず誰でも取り組める次世代スポーツを通じた地域活性化を目指して次世代スポーツの講習会や大会を行う。 具体的には、センサーが内蔵され日本刀をイメージした「SASSEN刀」を手にして戦うSASSENやeスポーツ等の体験会等を開き、次世代スポーツの魅力を中野地域から発信する。幅広い世代と交流する機会を設けることで、世代を超えたコミュニケーションの機会を創出し、次世代スポーツを活かした地域活性化のモデルケースを目指す。 ①実践活動及び体験会 (1,644)	1,644	1,315	521	子育て支援、 学びの推進
4	保健、医療、 福祉の充実	子育て支援型 の生鮮冷凍食 品フードバン クと長丘こど も食堂	信州子ども食 堂印 SDGs プ ロジェクト	長引く新型コロナウイルス感染症や物価高等の影響で、困窮世帯が増加傾向にある中で、生鮮食品の受け入れと提供を行うフードドライブ&フードパントリーを実施する。 事業としては中野市内の施設に「冷凍コンテナ及び冷蔵コンテナ」を設置し、食材提供者と食材支援が必要な個人や子ども食堂取組団体等が活用できる地域の助け合い場を創出する。 ①冷蔵冷凍コンテナレンタル費 (4,978)、広報費 (733)	5,711	4,568	2,506	子育て支援、 学びの推進
5	地域協働の推 進	手づくり農村 支援事業	中野市	高齢化や後継者不足により、農作業負担が増加する農村地域で、負担軽減や高齢化、地域協働による自立した基盤整備を推進するため、農道や用排水路の補修等に必要な材料支給や重機の提供の支援を行う。 ②農道舗装10箇所 (9,361)、水路改修 (7,396)	16,757	8,378	5,000	
6	農業振興	キッチント レーラーを活 用した農業振 興と地域プロ モーション	一般社団法人 信州いいやま 観光局	令和4年10月にリニューアルオープンした道の駅・花の駅千曲川にかけそばの提供を行うキッチントレーラーを設置して、信州のファストフードであるそばで観光客の胃袋と心を満たすとともに地元産のPRを行う。そばは、飯山市内の雪室で熟成したそば粉から製造された麺等を使い、そばの生産・消費拡大につなげるほか、キッチントレーラーの機動力を生かして各所のイベントに向き、飯山のそばをPRする。 ②キッチントレーラー購入費 (5,897)、トレーラー外装デザイン (808)、移動販売電源機材 (579)	7,284	4,423	4,423	農産物生産・ 消費拡大
7	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	地域住民と移 住者の連携に よる「みらい の村」エリア マネジメント 推進事業	一般社団法人 未来社会推進 機構	飯山市の人口は2015年の21,438人から30年後 (2045年) には10,617人にまで半減すると見込まれ、人口減少が大きな課題となっている。特に集落は存続や衰退にも直結つながることから、団体では、将来にわたり活気ある自治活動が維持できるようにエリアマネジメント事業を行う。 事業では、住民へのアンケート等を通じて2050年の「集落の未来図」を作成し、移住者を見つけるサポート体制の構築や移住者が住める空き家の調査・発掘を行う。 ①印刷製本費 (410)、ホームページ作成 (176)、広告費 (165)、謝金 (73)、消耗品当 (60)	884	706	706	女性・若者
8	教育、文化の 振興	かわまちづく り推進事業	千曲川北信5 市町かわまち づくり推進協 議会	千曲川の河川空間等を活用した広域観光の推進を図るために、R4年度から支援金を活用している2年目の事業、R5年度は引き続き、小学生とその保護者を対象とした川下りツアーを実施するほか、「千曲川利活用イメージ形成物語」を作成しする。「日本一長い川=大きな資源」を十分に活用し、地域の活性化を図る。 ①川下りツアー (495)、千曲川利活用イメージ形成物語印刷 (619)	1,114	891	891	子育て支援、 学びの推進
9	教育、文化の 振興	地元間伐材と古材 を利用した活動 拠点の整備による 林業・環境・建 築・防災に関する 課題解決と教育プ ログラムの実践～ 木材加工と内装・ 小屋裏造作～	特定非営利活 動法人フォレ スト工房もく り	森林の管理、森林資源の有効性等を学び林業に携わる人材の育成やゼロカーボンに向けた取組の推進を図るために、森林の生態や管理方法、伐木造材に関する講習会を実施する。また間伐材と古材を活用して活動拠点となる施設を信州大学の建築学科の学生を中心にして整備を進めていて、3年目のR5年度は床・壁張作業、階段設置を行う。 ①講師謝金、木材伐採講習会歳費等 (1,742) ②大工工事、足場、雪よけシート (1,180)、研修用用具 (201)	3,123	2,234	2,191	子育て支援、 学びの推進
10	その他地域の 元気を生み出 す地域づくり	飯山のさつま いもによる元 気な地域づく り事業 (第2 弾)	一般社団法人 飯山そば振興 研究会	研究会では遊休荒地を活用して雪室熟成そばを栽培しているが、そばの連作障害の回避するため、R4年度からサツマイモを輪作作物として栽培し、雪室そばに加えさつまいもの特産品化を進めている。 2年目となる今年度は、下高井農林高校と連携した商品開発に加え、生産拡大を見据え、いも収穫機の導入により作業の効率化を図る。 ①商品開発用サツマイモ (60)、有害獣対策唐辛子苗 (140) ②ブルモアー (500)、いも収穫機 (4,180)、洗浄機セット (858)	5,738	4,313	3,510	農産物生産・ 消費拡大

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ 区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
11	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	COME DISCOVER IYAMA 地域力発信!インバウンド向けプロモーション事業	飯山商工会議所	飯山市は冬に比べてグリーンシーズンのインバウンド需要は低く、観光資源を生かした外国人向けのPRが長年の課題であった。新型コロナの水際対策が大幅に緩和された昨今の状況を追い風に捉え、今後のインバウンド需要を喚起するため、春・夏の飯山市を満喫できるおすすすめスポットを在住外国人が紹介する動画を制作する。また事業者がPR動画の制作について学ぶセミナーを実施し、インバウンド需用の復活と拡大を目指す。 ①動画撮影制作費等(2,047)、広告宣伝費(270)、事業者対象セミナー(180)	2,497	1,933	1,789	通年型の広域観光
12	特色ある観光地づくり	斑尾発進&発信 E-BIKEとトレイルを活用した地域づくり事業	斑尾高原観光協会	密を避けて楽しめるアクティビティとしてサイクリングが注目を集める中で、斑尾高原では、起伏に富んだ環境を活かしたグラベルバイクの国際的なイベントが開催されるなど、サイクリングが新たな観光コンテンツとして確立し始めている。 一層の普及を図るため、初心者や家族連れでも乗りやすいE-BIKEを導入し、レンタル事業を行うほか、トレイルコースをサイクリングでも走行できるように整備し、グリーンシーズンの誘客を推進する。 ②E-BIKE8台購入費(2,488)	2,488	1,865	1,165	通年型の広域観光
13	地域協働の推進	協働のむらづくり事業	飯山市	住民と市が協働して農道や林道、農業用水路等を整備することで、農林業の生産性を高める。また協働作業を通じて住民同士の交流や連携を図ることで、地域活性化につなげる。事業では、必要な材料支給や重機の提供の支援を行う。 ②水路改修14箇所、農道舗装10箇所、林道舗装2箇所、施設内環境整備(8,570)	8,570	5,427	5,000	
14	特色ある観光地づくり	北志賀そばパスタの商品開発普及事業	北志賀高原観光協会	山ノ内町は観光と農業が主な産業であるが、北志賀の「須賀川そば」は人気が高く、観光客に人気の出る新メニューの開発が急務であった。R4年度は北志賀そばドレッシングの開発等を行ったが、R5年度は下高井農林高校と連携してそばパスタの新メニューを開発するほか、町内イベントへの出展やそばパスタ試食会を行い、ツーリズム商品として観光誘致につなげる。 ①北志賀そば料理研究会(286)、ONSEN・ガストロノミーウォーキングの試食会(737)、新そばまつりの北志賀そばパスタ試食会(143)、下高井農林高校のそばパスタ商品開発(55)	1,221	976	536	通年型の広域観光
15	特色ある観光地づくり	ONSEN・ガストロノミーウォーキング in スノーモンキータウン事業	スノーモンキーONSEN・ガストロノミーウォーキング実行委員会	湯田中温泉郷の魅力を発信し、入込増を図るために、10月21日に「めぐる」、「たべる」、「つかる」をテーマに約8kmの温泉街を巡りながら農産物、畜産品、加工品に加え地酒等をふるまうガストロノミーウォーキングのイベントを実施する。開湯1,300年余りの温泉と北信地域の食のPRや、県内におけるONSEN・ガストロノミーウォーキングの浸透を図る。 ①PR経費(968)、イベント運営費(2,523)、スタッフ経費(775)	4,266	2,456	2,456	通年型の広域観光
16	特色ある観光地づくり	志賀高原ヒルクライム	志賀高原ヒルクライム実行委員会	志賀高原を縦断する国道292号は、標高約500mの湯田中温泉郷と標高2200mを超す決峠を結び、日本国道最高地点を有する国内有数の山岳道路である。 旅行者のニーズが多様化する中、自転車を活用した自然に負担をかける必要がない旅行形態が求められており、コロナ禍における自然を活用した旅行商品を作成する必要がある。国立公園内の自然に負担をかけないサイクルツーリズムの振興を図るため、志賀高原ヒルクライムイベントを開催する。 ①イベント運営費(1,901)、会場運営(2,803)、スタッフ経費(680)、通行規制(1,540)	6,924	3,189	3,156	通年型の広域観光
17	特色ある観光地づくり	インバウンドの聖地山ノ内町での外国語実践研修&人材育成事業	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター	湯田中温泉、志賀高原という一大観光地を抱える山ノ内町では、旅館業の人手・人材不足が進んでいる。期間従業員等の派遣で対応している事業者も多く、地域や山ノ内町を愛し、将来を担う人材育成が急務である。 この課題解決のため、高校生、専門学校生及び大学生を対象に、座学、現地研修を行い、仕事の理解と就業につなげる。またR5年度は外国人客の対応を学生が行う外国語実践研修を行い、留学せずとも外国語が身につく機会を生み出し、人材確保と教育のマッチアップを図る。 ①講師代(450)、講師宿泊費(165)、アクティビティ費(726)、アプリ使用料(250)、募集HP制作費(300)	1,891	1,512	1,312	通年型の広域観光
18	地域協働の推進	地域協働で農林業に活力を与えるための施設整備	山ノ内町	高齢化や後継者不足により、農林業の経営は困難な状況に置かれ、負担軽減や効率化を図る上で、農林業に欠かせない農道、林道及び農業用水路の整備は急務である。地域で実施される農道や排水水路の補修等の協働活動のために、必要な材料支給や重機の提供の支援することで、住民の交流や地域のつながりの強化を目指す。 ②水路改修2箇所、林道舗装1箇所(2,904)	2,904	1,451	1,451	
19	教育、文化の振興	第6回常田富士男文学賞	常田さんの昔ばなし実行委員会	日本まんが昔話のナレーターとして知られる声優木島平村出身の常田富士男さんを偲んで「常田富士男文学賞」を創設して4年間にわたり、作品の募集等を行ってきた。6回目となるR5年度は、これまでの作品をまとめた作品集の製作や、語り部交流会を開催して住民のふるさとへの愛着を醸成するとともに、地域の文化振興と活性化を図る。 ①常田富士男文学賞(546)、語り部交流会(540)	1,086	642	405	
20	特色ある観光地づくり	本沢川登山道整備・里山トレイル案内アプリ開発事業	奥信濃100実行委員会	実行委員会ではR3年度より本沢川登山道を整備し、そこをコースの一部としたトレイルランニングのレースやツアーを実施している。レースの出走者数はR3が約500人、R4が約1,000人と右肩上がり、古道や林道を走れるコースは人気を博している。 さらにライトアウトドア層や女性・若者を取り込むため、ルートや周辺情報を紹介するGPS地図アプリを開発するほか、登山道に木橋を設置して、アクセスしやすくして、地域資源を生かして誘客を図る。 ①アプリ開発(1,650) ②山道橋架設工事(800)	2,450	1,920	1,920	通年型の広域観光

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容（単位：千円） （主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業）	事業費（単位：千円）			重点テーマ 区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
21	特色ある観光地づくり	野沢温泉スキークラブ創立100周年記念事業	野沢温泉スキークラブ	野沢温泉村は古くから温泉とスキーの村として知られ、バブル期には利用客が年間100万人を超えた、全国有数のスキーリゾートである。ただ近年はスキー離れが進んだことや、グリーンシーズンのイベントが停滞していることから、スキークラブ100周年を迎えるR5年度に、100周年祭の開催のほか、夏から秋にかけてローラースキーやクロスカントリーの大会を開催して、年間を通してスポーツによる地域振興を図る。 ①デジタルコンテンツ制作（4,200）、記念式典（657）、ローラースキー大会（1,103）、クロスカントリー大会（347）、100周年祭（760）	7,067	5,653	3,968	通年型の広域観光
22	特色ある観光地づくり	新・湯治NOZAWA ONSEN Stay【養生食発展事業】	一般社団法人野沢温泉観光協会	日本で唯一、自治体名に「温泉」が付く野沢温泉村。年間3万人訪れたインバウンド需要の急減に伴い温泉を活かした新たなコンテンツ作りが課題となっている。課題解決のため、R4年度より「新・湯治」による滞在型の宿泊スタイルを提案し、養生食の講座行っやいて、R5年度は、東洋医学（漢方）の考え方を取り入れ、メニュー開発や講習会を行う。 ①講習会開催（1,194）	1,194	954	954	通年型の広域観光
23	地域協働の推進	手づくり農林道路盤整備事業	野沢温泉村	農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要な林道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上、林業振興を図る。 ②農林道舗装2箇所（618）	618	411	411	
24	農業振興	スマート農業推進事業	極野区	高齢化が進む中山間地の多くでは、耕作放棄地が増えて、担い手の確保等が課題となっている。極野区では、水田を維持するため、苗代の共同購入など負担軽減と効率化を図っている。さらに共同化を図るため肥料・除草剤散布用のドローン1台を購入して、作業の効率化を図るとともに、水田の維持、米の品質向上を目指す。 ②ドローン本体（1,199）、発電機・バッテリー等（1,535）	2,734	2,049	1,780	農産物生産・消費拡大
25	特色ある観光地づくり	広域サイクリング観光推進事業	広域サイクリングルート研究会	密を避け、気軽に楽しめるとして人気が高まるサイクリング観光やボタリングを、栄村と隣接する十日町市、津南町の観光協会が連携して、普及を目指す2年目の事業。 R5年度は、サイクリングYoutuberが地域を走る自転車巡りや食事、自然を楽しむ様子を撮影したPR動画を作成するほか、SNSキャンペーン等の実施により、利用者の拡大を目指す。 ①PR事業動画作成・SNSキャンペーン等（681）	681	531	420	通年型の広域観光
26	特色ある観光地づくり	雪国たべごと推進事業	雪国たべごと研究室	マタギ、山菜など独自の文化が色濃く残る長野県の最北地・栄村秋山郷だが、高齢化や生活様式の変容により、知恵や食文化・技術が失われていく状況にある。そこで、秋山マタギについて語り合うトークイベントや山菜採取ツアーを盛り込んだ料理教室行っやうなど、秋山郷の魅力の再発見、移住や関係人口の増加を目指す。 ①マタギイベント・料理教室等（2,849）	2,849	1,740	1,740	通年型の広域観光
27	特色ある観光地づくり	秋山郷サステイナブルツーリズム事業	サステイナブルツーリズム秋山郷実行委員会	長野・新潟両県に位置する秋山郷の観光振興を図るために、R4年度から遊休施設等を改修して拠点施設を整備するとともに、初夏から秋頃までに秋山郷内を巡る着地型観光ツアーの開催している。 R5年度は、拠点整備をさらに進めるほか、ツアーPRとしてWEBページを作成する。引き続きサステイナブルの視点から、食を通して自然環境を知り、食料廃棄問題など、学ぶツーリズムの推進を図る。 ①施設整備費（426）、着地型観光ツアー開催費（531）、ツアー宣伝費（990）	1,947	1,543	424	通年型の広域観光
28	地域協働の推進	農地等国土保全事業	栄村	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②道整備3地区（654）、水路整備9地区（2,970）	3,624	2,053	2,053	
北信地域振興局 計				28事業	101,701	66,240	52,947	